

世界**繊維業況****ICAC、綿花の生産コストを発表**

ICAC（国際綿花諮問委員会）は、このほど主要綿花生産国の綿花生産コスト調査を発表した。この調査は2009/10年度のデータを用いており、2006/07年度以来3年ぶりの調査である。34カ国、64地域が対象。天水栽培や灌漑農業地域も含まれている。

調査結果によると、綿実の生産コストは平均0.43ドル/kgと、前回調査より上昇した。また、綿くずの生産コスト（土地賃借、種子費用を含む）は1.22ドル/kgとこちらも前回調査に比べ17%上昇した。ICACでは、こうした生産コストの上昇はイールドの低下が主な要因と分析している。

生産国ごとにみると、アジア、西アフリカの生産コストは1.15ドル/kgで平均を下回った。一方で、米国が最も生産コストが高く、インドが、近年のイールド上昇もあり最も低かった。

個々のコスト要因は前回調査と比較して大きな変化がみられている。雑草除去コストは前回調査の2倍以上に上昇、化学肥料、灌漑費用も上昇した。一方で害虫防御のコストは横ばい、種まき、綿繰りコストは下落した。

中国**合繊原料****今後のPTAの新增設が相次ぐ**

中国では、PTAへの投資が相次いでおり、今後3年以内に大幅に生産能力が拡大する見通しである。

浙江逸盛石化が現在建設中の年産150万トンのPTAの第3生産ラインは2011年第2四半期に完成、江蘇三房巷集団の年産90万トンのPTAプラントは2011年第3四半期に完成する予定。

廈門翔鷺石化が福建省漳州に建設中のPTAプラントは2010年初めに着工されているが、生産能力は以前に発表されていた年産150万トンから年産200万トンに拡大されている。桐昆集団が計画中の年産150万トンのPTAプロジェクトは2009年末に許可を受け、現在は建設と設備供給の契約を進めている段階である。この2社はともに、2012年上半期の正式稼働を予定している。

江蘇恒力化繊は年産200万トンのPTAプラント、台湾亜東石化も同200万トンのPTAプラントの計画を有しており、現在政府の最終的な許可を待っている段階である。許可されれば、2012年下半期に稼働を開始する

といわれている。

浙江遠東化繊は年産 120 万トンの PTA プラントの計画を持っており、現在基本調査は終了、FS と融資について話を進めている段階である。順調に進めば 2013 年に完成予定。

増設 Performance Fibers、開平工場増設を発表

Performance Fibers は、9 月 8 日、中国開平工場におけるポリエステル長繊維及び織物の生産能力増強を発表。中国など世界各国で高まり続けるポリエステル強力系の需要に対応する。この増設により同工場の生産能力は倍増し、12-18 ヶ月後には年産 4 万トン弱になるとみられる。

Performance Fibers は、米国のノースカロライナ州シャーロットに本社を置く、高強力ポリエステル系、ナイロン(6)、産業用織物、縫糸などの大手グローバルサプライヤー。北米、アジア、ヨーロッパに製造拠点を持ち、製品は民生用、工業用に様々な用途で使用されている。中国では、20 年前に HMLS ポリエステルの生産を始めた。

化繊設備 賽得利のレーヨン工場が莆田で着工

シンガポール金鷹グループ傘下で大手レーヨンメーカーの賽得利は、福建省莆田に差別化レーヨン S 工場の建設に着工した。投資額は約 30 億元、設備能力は年産 20 万トン、2011 年末に生産開始の予定である。

賽得利によると、同プロジェクトは欧州の設備を導入し、輸入パルプを原料とするという。賽得利グループは現在、ブラジル、インドネシアにパルプ工場を有しており、江西省九江の賽得利化繊では、溶解パルプからレーヨン繊維の生産までを行っている。同工場では第 2 期工事が試運転段階であり、年内に正式生産が始まる予定である。

ちなみに中国では浙江龍達集団が江西省九江で差別化レーヨン S 工場(年産 11 万トン)の第 1 期生産を開始している(海外速報 2010 年 6 月 20 日号)。中国の 2010 年 1-7 月のレーヨン生産は前年同期比 8.8% 増の 108.8 万トンである。